

盛岡市上下水道局職員インタビュー



所属	下水道施設管理課
職員名	菅原 技師
入庁年度	令和3年度
職種区分	土木技術職

※所属は令和4年4月1日時点です。

Q1：採用から現在までの所属は？

令和3年度～ 上下水道局下水道施設管理課

Q2：現在の担当業務とやりがいは？

現在、下水道の管渠の維持・管理に携わっています。様々な要望に対応したり、各種設計業務を行うほか、現場の監督など幅広い業務を行っています。

業務の幅が広い分忙しいですが、作業終了後の達成感をとても感じられると思います。

Q3：職場の雰囲気は？



みんな仲良く、楽しく仕事を行っているように感じます。様々な年代の人がいるので、最初は不安でしたが、みんな優しい人ばかりですし、分からないことを聞いても、とても丁寧に教えてくれます。

Q4：学生の時にやった方がいいことは？

勉強や部活動はもちろんですが、趣味などの自分の好きなことを全力で楽しむべきだと思います。社会人になると自分の自由な時間が学生時代に比べどうしても少なくなってしまうので、楽しめるうちに楽しんでおいた方がいいと思います。

Q5：盛岡市を志望した理由は？

他県の市町村と迷いましたが、愛着のある地元で働き、地元に貢献したいと思い志望しました。

Q6：入庁前と入庁後での、職場へのイメージの変化は？

正直なところ、入庁前、土木技術職とは実際に現場などで作業をするものだと思っていました。実際入庁後の業務は、設計・積算や各種工場の現場監督などであり、私の思っていた業務とは少々違いましたが、思っていたよりも楽しくやりがいがある業務です。

Q7：今までの仕事で印象に残っているエピソードは？

下水道管の詰まり対応の際に、マンホール内部の洗浄など普段では見ることがない光景を目の当たりにし、我々の業務があるからこそ、快適かつ衛生的な生活が守られているんだと改めて感じました。

Q8: とある1日のスケジュール

8:30	始業、各種書類作成
10:30	現地調査
12:00	昼休み
13:00	現場作業
16:00	作業報告書作成
17:15	終業



Q9: モットー（仕事の上で大切にしていること）は？

常にお客さんや市民からの目線に立ち考えることです。

私たちの計画するものが、みなさんからの要望には全て応えられるとは限りません。しかし、その中でも常に市民の目線に立ち、快適に暮らしやすく、下水道が使えるように努めています。

Q10: 盛岡市上下水道局で働くことの魅力は？



下水道は、地中に埋設されているもので、あまり目立つものではありません。しかし、この業務に携わる人がいるからこそ、我々は安心・安全で快適な生活ができていて、市民の生活を陰で支えるという「縁の下の力持ち」として活躍できることが大きな魅力です。

Q11: 未来の後輩に一言！

土木の仕事は、全てのものの土台になっています。土木があってこそ我々が快適な生活を送ることができています。その生活の基盤となっている部分に携わった仕事はとてもやりがいがあるほか、初めて見る光景ばかりでとても楽しいです。みなさん上下水道局に入り一緒に働きましょう！